



平成 28 年 12 月 14 日

各 位

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会  
社  
代表者名 代表執行役会長、社長兼最高経営責任  
者  
窪田 良  
コード番号 4596 東証マザーズ  
問合せ先 ディレクター 須賀川 朋美  
(TEL : 03-5789-5872 (代表))

**EyeMedics社との新規バイオメディック技術における全世界製造・開発・販売の  
独占的实施権取得に関するオプション契約締結に関するお知らせ**

世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発および実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーの窪田製薬ホールディングス株式会社(以下「当社」)は本日、完全子会社であるアキュセラ・インク(以下「アキュセラ」)が、低分子化合物を用いた眼科治療薬の開発を手がける EyeMedics 社(本社: 米国カリフォルニア州、社長: ニコス・ペタシス博士 (Dr. Nicos Petasis)) と、眼科治療薬の新規候補化合物を含むバイオメディック技術\*<sup>1</sup> (生物模倣技術) において全世界における製造・開発・販売の独占的实施権取得に関するオプション契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

記

EyeMedics 社の技術は南カリフォルニア大学から導入されたもので、加齢黄斑変性、増殖糖尿病網膜症、糖尿病黄斑浮腫など、血管新生を伴う網膜疾患において、初期段階の炎症過程で放出される内因性因子を全く新しいメカニズムで調節することを目指しています。現在、世界で約 1 億 4,200 万人が加齢黄斑変性に罹患しており、約 1 億 500 万人が糖尿病性の眼疾患を患っています\*<sup>2</sup>。これらの疾患は世界において失明の主要原因とされています。

EyeMedics 社の新薬候補化合物は、眼内の細小血管を損傷することなく病的な血管新生および血管漏出を抑制する働きにおいて、既存の抗 VEGF 療法と同等の効果が得られる可能性が初期段階の in vivo\*<sup>3</sup>非臨床試験で示唆されました。

アキュセラは、この新薬候補化合物による、新生血管を生じる逐次的反応\*<sup>4</sup>における早期治療に加え、現在の標準的な治療薬として投与されている抗 VEGF 生物学的製剤よりも投与回数を削減し、より長期間にわたり治療効果を持続する可能性について検討してまいります。

眼科医であり、当社の代表である窪田良は次のように述べています。「網膜血管新生を伴う様々な疾患に苦しむ患者さんに対し、身体的負担を軽減することが期待される硝子体内もしくは経口投



与による治療法を一日も早く提供できるよう、可能性を評価してまいります。この革新的な全く新しい治療法の研究開発に全力で邁進してまいりたいと考えています。」

EyeMedics 社の共同創業者、社長兼最高技術責任者のニコス・ペタシス博士は次のように述べています。「私たちはこのバイオミメティック技術が多くの患者さんを救う可能性があると考えており、アキュセラとのパートナーシップにより、この技術開発を推進できることをありがたく思っています。」

当社は、当該権利取得に伴い一時金を支払う予定となっておりますが、その金額は軽微であり、既に 2016 年 12 月 6 日に開示された 2016 年 12 月期の業績予想に織り込み済みです。なお、研究の進捗度合いおよび経営状況を勘案し、当該権利を行使した後に業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに修正開示いたします。

(注釈)

- 1: バイオミメティック技術もしくは生物模倣技術とは、生体構造やその機能を模倣して応用する工学技術のこと。
- 2: Market Scope, The Global Retinal Pharmaceuticals & Biologic Market, 2015
- 3: in vivo (イン・ビボ) とは、マウスなどの生体内に被験物質を投与し、薬物反応を調べる試験のこと。
- 4: 逐次的反応もしくはカスケード反応とは、数段階にわたる一連の反応が初発反応の開始によって連続的に順次増強される反応形式のこと。

以上

#### 窪田製薬ホールディングス株式会社およびアキュセラ・インク (Acucela Inc.) について

当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発および実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社子会社のアキュセラ・インク（米国、シアトル）が研究開発の拠点となり、革新的な治療薬・医療技術の探索および開発に取り組んでいます。当社独自の視覚サイクルモジュレーション技術に基づく「エミクススタト塩酸塩」において糖尿病網膜症、スターガルト病、中期加齢黄斑変性への適応を目指し研究を進めております。また、白内障や老視（老眼）の薬物治療を目的としたラノステロールの研究開発および網膜色素変性における視機能再生を目指すオプトジェネティクスに基づく遺伝子療法の開発を実施しております。

(ホームページアドレス：<http://kubotaholdings.co.jp>)

#### EyeMedics 社について

EyeMedics 社は、眼科用低分子薬の開発を手がける非上場企業です。南カリフォルニア大学から革新的なバイオミメティック技術を導入し、滲出型加齢黄斑変性および血管新生を伴う網膜疾患に対する治療薬候補を同定しました。



### **免責事項**

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。